

VISUAL MUSIC with DEAF #8

SIGHT

サイト映像展 2004

眼で見る音楽

眼で聴く音楽へ新・感性映像作品展

2004年11月13日[土]・14日[日] | 銀座・SOMIDOホール(ソニービル8F)

主催:メディア・ワークス 総合プロデュース:佐藤慶子 助成:芸術文化振興基金  協賛: SOMIDO / ソニー企業株式会社 / SHI/EIDO

協力: (有)手話文化村/中島崇 後援: 東京都/東京都聴覚障害者連盟/社会福祉法人トット基金 SIGHT・サイト映像展 2004実行委員: 佐藤慶子/米内山明宏

TEL/FAX 03-3446-2618 E-mail: mediaworks160@yahoo.co.jp <http://www.mediaworks-net.com/>

SIGHT・サイト映像展は、ろう者と聴者による「聴覚のための映像」の可能性を探求する、全く新しい感性による映像展
あなたのなかの音楽・言葉・感覚が新たな地平に広がっていく・・・

11月13日[土]

サイト1 / Video Cafe 1 13:00

◎上映及び展示：小侯富則、山中修、伊藤徹也、日置尚之、澤崎賢一、大島智美、こぐまあつこ、木村和代、JAIME SCHOLNICK、LAWRENCE ENGLISH、横浜市立聾学校映画クラブ(代表：原慶仁)、映像表現(代表：桑田昌明)、GOLDEN SHIT(代表：木村恵多)、佐藤慶子、1 minute Animation Festival (Vol.1~4)、マイ・コマーシャル「響きの歌」

サイト2 / 「日本の映像の歴史をヴィジュアル・ミュージックの視点からみる・松本俊夫特集」 15:00

レクチャー & 上映 ◎出演：松本俊夫 ◎上映予定作品：「つぶれかかった右眼のために」(68)、「メタスタシス」(71)、「モナ・リザ」(73)、「色即是空」(75)、「エニグマ」(78)、「ホワイト・ホール」(79)

サイト3 / デフ・ビデオ 17:00

◎ミニトーク 出演：砂田アトム ◎出品作家：米内山明宏、トミー・シオン、河合ゆみこ、砂田アトム、野崎ヤマト、横浜市立聾学校映画クラブ、映像表現

サイト4 / 「アートアニメーションとしてのアブストラクトシネマ—その音の経験」 19:00

<石田尚志特集>レクチャー & 上映 ◎出演：石田尚志 ◎上映予定作品：「部屋/形態」(99)、「フーガの技法」(01)、「椅子とスクリーン」(02)、「生成するエクリン」(04)

11月14日[日]

サイト5 / ヴィジュアル・ミュージックライブ&トーク「谷川賢作・さがゆき」 13:00

◎出演：谷川賢作(ピアノ)/さがゆき(ヴォーカル) ◎映像：田中孝

サイト6 / ヴィジュアル・ミュージック 15:00

◎ミニトーク 出演：タン・カイン ◎インタビュー 出演：アントニオ高野 ◎上映：中西義久、米内山明宏、山中修、松山由維子
◎ニューヴィジュアル 出演：佐藤慶子 + 米内山明宏 + 山中修

サイト7 / 映像ナウ「声/瞬間の感知」VC TOKYO セレクションプログラム 17:00

◎出品作家：阿部紀子、西山修平、服部かつゆき、印牧和美、本田一雄、小林泰賢、瀧健太郎、河合政之

サイト8 / Video Cafe 2 19:00

◎ライブ出演：pico pico stomachs ◎上映及び展示：Video Cafe 1と同じ内容です。

各プログラムには
手話通訳がつかます。

◎開場は各15分前です。◎各プログラムの内容は変更の可能性がありますのでご了承ください。◎Video Cafe 1とVideo Cafe 2は、一部内容が重複いたします。◎上映作品の詳細など、最新情報はメディア・ワークスホームページで更新してゆきますので、ご覧ください。※ろう者の方には、ライブプログラムでは、体感用の風船をご用意しております。ご希望の方は、お気軽にお申し出下さい。



松本俊夫 (まつもととしお)

1950年代後半から実験的な映像制作と理論をジャンルを横断して探求し続け、「石の詩」(63)、「つぶれかかった右眼のために」(68)から「シフト」(82)、「気配」(90)に至る実験映画やビデオアート、万博せいん館70から「ナラロジーの風」(92)に至るインターメディアやインスタレーション、「薔薇の葬列」(69)から「ドグラマグラ」(88)に至る劇映画のほか、著書に「映像の発見」「表現の世界」「映画の革新」「幻視の美学」「映像の探求」がある。現在日本大学芸術学部客員教授。



石田尚志 (いしだたかし)

1972年東京生まれ。90年より絵画の発表をはじめ95年ころから映像の制作をはじめ。作品に「部屋/形態」(イメージフォーラムフェスティバル特選 99)や、「フーガの技法」(愛知芸術文化センターオリジナル映像作品 01)、「椅子とスクリーン」(イメージズベストインターナショナルフィルムアワード受賞「カナダ」03)、「絵馬・絵巻」(世田谷美術館インスタレーション 03)等あり、多くの国際映画祭で上映されている。現在多摩美術大学非常勤講師。



谷川賢作 (たにかわけんさく)

1960年東京生まれ。ジャズピアノを弘勢憲二、佐藤彦彦氏に師事。自己のグループDivadeでの活動の他、坂田明他多くのミュージシャンとセッションワークを重ねる。映画・TV等への作曲も数多く、映画「四十七人の刺客」、NHK「その時歴史が動いた」テーマ音楽等。1988・95・97年日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。1995年第40回アジア太平洋映画祭最優秀音楽賞受賞。1999年自己のレーベル、トルノバドールカフェを創設。現在まで11枚の作品、また、父・谷川俊太郎と共に、朗読と音楽のCD「家族の肖像」(2004年)をリリース。



田中孝 (たなかたかし)

http://park18.wakwak.com/~cha/
sound visual designer。
武蔵野音楽大学音楽学部作曲学科作曲専攻卒業。
現在は株式会社CRI・ミドルウェアにてサウンドツールを制作するプログラマー。
コンピュータによる音の拡張表現としてサウンドの視覚化表現の追求とLiveコントロールをライブパフォーマンスを通して研究しています。



さがゆき

天空を舞う声～現代の巫女…さがゆき。東京出身。「声」を楽器としたフリーキーで幻想的な「完全即興」を歌う稀有な存在。アムステルダム「メシアン記念音楽祭」、インド「Jazzヤトラ音楽祭」、韓国「アートフェスティバル」他、諸外国の活動も多い。「声」のための独自の講座も好評。中村八大、谷川賢作、渋谷 毅、宮裡雅彦、大野一雄、大友良英、…等ノンジャンルに共演。様々な現代のアートと自在な交流も。アルバムが今年10月「Day dream」、12月「Plays中村八大」発売。



佐藤慶子 (さとうけいこ)

SIGHT・サイト映像展総合プロデューサー、作曲家。



米内山明宏 (よないやまさきひろ)
(有)手話文化村代表。日本ろう者劇壇代表。役者、演出家。

舞台監督：吉本直間 (よしもとなおき)

チケット/ファクス、メールでのお申し込み

- 1プログラム/¥800 ●Video Cafe/¥500
- 谷川賢作ライブ(サイト5)/¥2,500
- オールパスポート(両日とも有効)/¥3,000

◆メディア・ワークス/Fax: 03-3448-2818
E-mail: mediaworks160@yahoo.co.jp ishiat_m@yahoo.co.jp
◆手話文化村/Fax 03-5421-1937 E-mail: shop@shuwamura.com

◆お問合せ：メディア・ワークス
〒150-0013 渋谷区恵比寿2-21-3 TEL / FAX 03-3448-2618
http://www.mediaworks-net.com/

SOMIDOホール

〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-1 銀座ソニービル8F
TEL 03-3289-5310 FAX 03-3289-5301 (地下鉄「銀座」駅B9出口)



銀座ソニービル8F
tel: 03-3289-5310
fax: 03-3289-5301